

山ぼうしは「立志の樹」といわれ、正門脇の「やまぼうし小庭園」には、



『花も実も 蒼天に立つ 山ぼうし』

の碑（初代PTA会長 盛合聡の揮毫）がある。



山ぼうし - 友愛・協調・責任 -

2014年9月16日 NO.6(9月号)

岩手県立宮古工業高等学校 校報(発行者 校長)

☆9月の主な行事☆

4	(木)	4・5・8・9日 第2期定期試験
11	(木)	心とからだの健康観察(全学年)SC来校日
17	(水)	第1回進学推薦会議
18	(木)	第1回校内大清掃
22	(月)	基礎製図検定
24	(水)	SC(スクールカウンセラー)来校日
25	(木)	授業料・諸会費振替日、生徒会役選
29	(月)	成績一覧表提出日

■平成26年度前期技能検定合格状況

岩手県職業能力開発協会から、平成26年度前期技能検定合格者の通知(平成26年8月22日)がありました。

本校の受験者数及び合格者数(率)は次のとおりです。

普通旋盤作業3級は、岩手県全体の合格率も低い傾向にありました。「山ぼうしNo3」にも書きましたが、検定試験では結果とともに受験までの努力がとても大切です。試験の傾向や難易度が変わろうとも、合格に向けしっかりと本気で勉強しましょう。

- 1 機械加工(普通旋盤作業)3級
15名受験 → 7名合格(合格率 47%)
- 2 機械保全(機械系保全)3級
29名受験 → 26名合格(合格率 90%)
- 3 電子機器組み立て(電子機器組み立て)3級
4名受験 → 4名合格(合格率 100%)

※上記1~3:職種名(作業名)級

■第20回記念 宮古市大産業まつり出品

10月5日(土)6日(日)の2日間にわたって、本校は今年度も多くの要望にお応えし、「宮古市大産業まつり」に出品することにいたしました。今回は2つのブースを設置し、一つ目のブースは、お馴染みの『津波模型』です。

また、隣の2つ目のブースでは、黒沢尻工業高校が製作した「バーベキューコンロ」の展示即売を行います。

なお、黒工様は売上金全額を宮古市へ支援金として寄附したいという意向のようです。

◇神戸市立神港高校生徒会からのお手紙紹介

我が校でも支援・防災に関わる商品を、毎年一つずつ自分たちで考案・製作しています。それを地元の手しごと市などで販売する機会を頂き、売り上げの全額を、貴校をはじめ6つの高校へお送りさせていただく形で、3.11 東日本大震災東北支援活動を現在も続けています。「人と防災未来センター」での皆様に『てんさいくんパズル』と『あしたのつばさ』をお渡ししましたが、これらも実際に販売している商品です。『てんさいくん』というのは、今年の1月に我が校で誕生した防災キャラクターです。名前の由来には、「災(さい)害を伝(でん)える」といった意味合いがあります。『あしたのつばさ』というのは、県旗をモチーフにしたキーホルダーで、我が校の女子が一つひとつ想いを込めて編んでいます。(中略)

最初は貴校がどういう方たちなのか、どういった活動をされているのか正直なところ学校名さえも知りませんでした。しかしホームページを拝見させていただいたり、防災に関するイベントなどで交流させて頂いたりしていくうちに、貴校の魅力や素晴らしい活動の数々を知ることができました。そして、地震・津波の危険性、防災についても深く学ぶことができました。この経験を活かし今後いつ起こるか分からない天災にしっかりと備えていきたいです。

2014/9/5【神戸市立神港高等学校 生徒会長 楠本真聖】

※お手紙ありがとうございました。

■ 建築設備科(F3)課題研究 「車いすボランティア」活動



1 いわて車いすフレンズ

アジアの国々では、車いすを購入することができず、日常生活に困っている人たちがたくさんいます。その方たちに少しでも役立ちたいという思いをこめて、「いわて車いすフレンズ」は、県内の工業高校生を中心に、利用されなくなった県内の車いすを修理・整備し、アジア諸国へプレゼントするボランティア活動です。

【岩手県社会福祉協議会ボランティア・市民活動センターHP】

2 本校での車いすボランティアへの取り組み

昨年度までは、岩手県福祉協議会の「いわて車いすフレンズ」と命名されたボランティア活動の呼びかけに応じるとともに、「課題研究」のテーマに「車いすボランティア」を設定した電気電子科や建築設備科の3年生は、県内の使われなくなった車いすを回収・修理・整備し、それらを海外の国々へ寄贈するというすばらしい活動を行ってきました。

今年度はこれまでの活動に加え、「体調を崩した生徒の足」として、また、「ハンディキャップ体験の実習用具」として、車いすを必要とする小学校あるいは中学校を募り、無償で寄贈することを新たな目標としました。

その手始めとして、課題研究を進める3年生の母校(中学校)を対象に、ハガキで希望調査を実施したところ、宮古市立第二中学校から、「車いすを是非とも頂戴したい」旨の大変ありがたいご返事をいただきました。

8月22日(金)、担当教諭1名と生徒3名が第二中学校を訪れました。残念ながら校長先生は不在でしたが、職員室にて副校長先生や生徒の恩師の方々を含め数名の先生方の立ち会いの下、無事贈呈することができました。第二中学校出身の生徒は照れながらも母校への恩返しのできたことをとても嬉しそうにしていました。この光景を目の当たりにした他の生徒達は、一刻も早く作業を完了させ、車いすを母校へ贈りたいと意気込んでいました。

3 作業工程 【※本校で身に付けた基礎的技術の活用】

- ① 4~5月:車いすの分解、錆落とし、パンクレスタイヤへの交換、基本的な修理・整備作業
- ② 6~7月:車いすの錆落とし、ネジ部の締め直し、バランス調整、安全に使用できる状態に修理・調整
- ③ 7月下旬:受け入れ希望調査の実施 等

4 テーマ担当生徒(建築設備科3年)



本課題研究をテーマに活動している生徒は次の5名です。

- ① 有谷 雄貴 君
- ② 大町 幸輝 君
- ③ 佐藤 亮雅 君
- ④ 中井 啓晶 君
- ⑤ 政谷 諒汰 君

【図1】車いすの贈呈(宮古市立第二中学校)

《問い合わせ》宮古工業高校建築設備科 TEL 0193(67)2201

■ 広島市大規模土砂災害 義援金募金への御礼と報告

平成 26 年 8 月 19 日に広島市で発生した大規模土

平成26年9月5日

広島市大規模土砂災害義援金募金

お 礼

この度、広島市で発生しました大規模土砂災害の義援金募金活動に対しまして、宮古市の皆様から、たくさんのご協力をいただき心から感謝申し上げます。
下記のとおり、募金の集計と振り込みが完了いたしましたのでご報告いたします。

記

○マリンコープDORA
H26年9月1日(月)・2日(火)17:00~18:00
金額 82,013 円

○宮古工業高校 H26年8月29日(金)~9月3日(水)
金額 30,485 円

計 112,498 円

義援金は全て「広島県大雨災害義援金」へ振り込みました。H26年9月4日(木)

岩手県立宮古工業高等学校生徒会

砂災害に対し、本校生徒会から義援金募金活動を行い、たい旨の申し出があり、生徒会の5人が、各クラス用の募金箱と街頭用の募金箱を手作りしました。

校内では各クラスと職員室で募金活動を行うとともに、「マリンコープDORA」の店舗入口で被災者の生活再建に協力を呼びかけました。

本校は、東日本大震災の津波で校舎1階が浸水する被害を受けた「津波被災校」です。これまでに全国から多大なご支援を頂戴し、復興への歩みを着実に進めることができました。

本校生徒及び教職員は、これまでのご支援に対する恩返しの気持ちと、被災地の一日も早い復旧・復興を願い、生徒会が企画した募金活動に熱心に取り組みました。校内では4日間、「マリンコープDORA」では、買い物客で賑わう夕方5時から6時までの時間帯に募金活動を2日間行いました。

お陰様をもちまして、多くの皆様の善意により、**112,498円**の募金が集まりました。これらはすべて、9月4日(木)、下記口座に振り込みました。

ゆうちょ銀行 口座番号 00920-5-234852
口座名義 広島県共同募金会 (広島県大雨災害義援金)

マリンコープDORAをはじめ、宮古市の皆様から、たくさんのご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。



【図2】生徒会企画による街頭募金の様子 (担当教諭も同行)

生徒会副会長 佐々木 大 君 (機械科)

生徒会執行部5名と共に、広島市で発生した土砂災害の義援金募金活動を行いました。3.11の震災の時は、全国の皆様から多くのご支援をいただきました。その恩返しの想いと、少しでも被災された方の役に立ちたいという気持ちで活動しました。我々の想いに賛同し募金へ協力して下さったことに感謝しています。ありがとうございました。

☆【報道】岩手日報(9/2)

■ 遠野緑峰高等学校との 復興交流推進事業の開催

平成 26 年 8 月 26 日 (火)

遠野緑峰高等学校との復興交流推進事業を8月26日(火)に実施しました。遠野緑峰高校の生徒会執行部13名、花を育てた同校生産技術科草花班7名、そして引率教員3名(副校長先生を含む)が本校を訪れ、贈呈式ではマリーゴールドやコリウスなどのプランター40鉢を頂戴いたしました。そして、遠野緑峰高校の生徒会長さんからは、「自分たちが育てた花を見て元気になってほしい」との応援の思いを込めた挨拶をいただきました。贈呈式の後、津波模倣型班のプレゼン、放送委員会が制作した本校紹介ビデオの視聴、そして交流会ではお互いに意見を交換し相互理解を深めるなど、とても有意義な時間を共有することができました。今年度で3回目の事業となります。遠野緑峰高校さんからはいつも花の美しさとともに、命の大切さを教えて戴いております。

遠野緑峰高校の皆様には雨の中来校していただき、心よりお礼申し上げます。(秋には本校が緑峰高校を訪問予定)



【図3】(左)贈られたプランター (右)プランターの設置

★ 週番目標 ★ (9/8~9/12)

「公共マナーの大切さ」&「通学マナーの向上」

第2回登校指導(平成26年9月1日)では、自転車の並走が見受けられました。このことを踏まえ9月8日(月)からの週番目標は公共及び通学マナーの向上です。季節は秋から冬へと向かいます。また、復旧工事等で車両の往來が激しくなります。常に交通安全を心がけるとともに、他人が見ていないところでもしっかりとマナーを守りましょう!!



また、復旧工事等で車両の往來が激しくなります。常に交通安全を心がけるとともに、他人が見ていないところでもしっかりとマナーを守りましょう!!

◆ 第3学年模擬面接指導 ◆

「社会人・職業人としての自立を目指す」

9月1日と2日の両日、3学年全員を対象に、今年度で15回目となる「平成26年度第3学年模擬面接指導」を実施しました。地元企業の若手経営者で構成する宮古商工会議所青年部の8名の方々に講師をお願いし、実践に近い形で模擬面接を行いました。模擬面接終了後には、個々の改善点などの助言はもちろんのこと、クラスの中から2名程度の合格者を選考するなど、より臨場感を出す工夫を加えながら行っています。事前に教職員からの面接練習や指導を行い、更に模擬面接を行うことで、生徒の面接を通しての自己探求が深まり、社会人・職業人としての自己実現に繋がっていることが大きな成果の一つです。